

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

9600

国民文化祭開催事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	2	芸術・文化の振興
取組方針	1	芸術・文化活動の推進

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化振興費		
	大事業	文化振興事業		
	中事業	国民文化祭開催事業		

事業種別	継続			関連個別計画			
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	文化振興課	洲崎 敬一郎	435-1194
事業実施の根拠法令				関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)			全体事業概要		
	本市の更なる文化の振興			令和3年度に和歌山県で国民文化祭が開催されるに伴う準備及び開催にかかる事業		
事業内容		平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
		過去に実施した都道府県への視察、文化団体との会議等	過去に実施した都道府県への視察、文化団体との会議等	広報活動、国民文化祭開催都道府県への視察、事業実施に係る文化団体との会議等	国民文化祭期間中における事業の実施、広報活動やカウントダウンイベントの実施、事業実施に係る文化団体との会議等	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	142	107	1,342	4,262	12,858	1,938	36,373	0	0	0
伸び率(%)	0%	0%	845.1%	3,883.2%	858.1%	△54.5%	182.9%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	32,848	32,928	32,136	31,894	45,862	51,037	51,037	0	0
	正規職員以外	0	0	0	0	7,201	7,244	7,244	0	0
	小計	32,848	32,928	32,136	31,894	53,063	58,281	58,281	0	0
国庫支出金	0	0	0	1,498	5,000	0	2,190	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	833	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	142	107	1,342	2,764	7,858	1,938	33,350	0	0	0
所要人数(人)	正規職員	4.11	4.12	3.99	3.96	5.76	6.41	6.41	0.00	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	2.86	2.88	2.88	0.00	0.00
主な予算内訳	国民文化祭和歌山市実行委員会交付金 12,858千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
視察件数		回	目標値	4	4	0	0	
			実績値	4	4	0	0	
			達成度(%)	100%	100%	0%	%	%
広報・啓発活動		回	目標値	0	0	20	20	
			実績値	0	0	18		
			達成度(%)	%	%	90%	%	%
市主催事業決定数		事業	目標値	10	15	0	0	
			実績値	8	20	0		
			達成度(%)	80%	134%	0%	%	%
認知度の向上		%	目標値	0	0	50	80	
			実績値	0	0	49.2		
			達成度(%)	%	%	98.4%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	2021年度秋に国民文化祭の開催が決定しているため、今後開催に向けた事業ニーズは増加する。 また、広報活動やイベントなど、事業規模や事業費ともに拡大する。
見直し・改善内容	事業規模や事業費ともに拡大するが、和歌山県や事業実施文化団体と協議を進め、事業費を抑えつつ効果的かつ効率的な事業実施ができるよう目指していく。